

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第3グループ(菅・中野島・南菅)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

	H27		H28		H27		H28	
	①登録者数	②年間延べ利用者数	①登録者数	②年間延べ利用者数	①登録者数	②年間延べ利用者数	①登録者数	②年間延べ利用者数
利用実績	1 菅子ども文化センター							
	①年間延べ利用者数		25,850人	24,198人	②年間延べ利用団体数		182団体	172団体
	2 菅小学校わくわくプラザ							
	①登録者数		357人	356人	②年間延べ利用者数		17,088人	16,544人
	3 東菅小学校わくわくプラザ							
	①登録者数		246人	241人	②年間延べ利用者数		19,735人	17,727人
	1 中野島子ども文化センター							
	①年間延べ利用者数		45,450人	38,828人	②年間延べ利用団体数		429団体	420団体
	2 中野島小学校わくわくプラザ							
	①登録者数		359人	362人	②年間延べ利用者数		20,560人	20,665人
	3 下布田小学校わくわくプラザ							
	①登録者数		177人	208人	②年間延べ利用者数		12,186人	11,923人
1 南菅子ども文化センター								
①年間延べ利用者数		28,897人	33,392人	②年間延べ利用団体数		345団体	353団体	
2 南菅小学校わくわくプラザ								
①登録者数		152人	149人	②年間延べ利用者数		8,578人	8,270人	
3 西菅小学校わくわくプラザ								
①登録者数		171人	169人	②年間延べ利用者数		11,395人	10,188人	
収支実績	1 収入							
	指定管理料		154,298,093					
	2 支出							
	人件費		126,539,105					
	管理費		9,888,045					
事務経費		7,963,295						
その他経費		9,886,851						
合計		154,277,296						
3 差引		20,797						
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書及び事業計画書に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 菅子ども文化センターにおいては、菅高校からの提案で乳幼児のふれあい体験が昨年から回数が増えたこと、卓球教室を毎月実施し、卓球部の中学生がアシスタントとして活躍しているなど、中高生に対して、職業体験の機会や社会参加の機会を提供している。 南菅子ども文化センターにおいては、南菅中学校の職業体験として、「きらきらKIDSみなみっこ」を実施し、事前に保育士を講師に迎え研修を行ったこと、また、館長の元校長という経験を活かし、「キャリア寺子屋」講座を実施し、国民年金保険料学生納付特例制度の説明を行ったり、その他、図書室に職業紹介や大学案内等の書籍を重点的に配架するなど、中高生に対し、将来の職業を考える機会の提供を行った。 こうした取組により、グループ全体の子ども文化センターの中高生の利用者数は、前年度から約1,100人増加した。 			

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者ニーズについては、事業実施後のアンケートや館内設置の意見箱、運営協議会や子ども運営会議、保護者懇談会等を通じて適宜把握しており、南菅こども文化センターにおいて、乳幼児がボールや遊具等で遊べるようにしてほしいという要望を受け、毎月1回集会室を午前中開放する「きらきらKIDSみなみっこ」を実施したり、西菅わくわくプラザにおいて、子ども運営会議の意見にあり、老人いこいの家との交流が実現するなど、可能なものから順次対応している。 学校及び行政機関との連携については、菅こども文化センターにおいては、菅地域教育会議と連携して、こども110番の設置場所や地域の危険箇所を把握する「探検・発見！菅まちラー」を実施したり、地域から寄贈された天体望遠鏡を使用し、天文学を専攻していた地域ボランティアを講師に「SUGE天文教室」を実施したり、同じく地域ボランティアにより小学生向けのパステルアート講座を実施する等、地域人材の発掘を行ったりしている。また、中野島こども文化センターにおいては、地域のボランティア団体と連携し、新たに毎月1回子ども食堂「キッチンTAMAGO」を始めたり、中野島わくわくプラザにおいて、玉川大学からボランティア実習生の受入を行う等、各こども文化センターを核に地域が繋がっている状況が生まれている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
災害発生時に備えた対応が図られているか。					
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 利用者の安全確保については、グループ全職員に普通救命講習の受講を義務付け、有事に備えるとともに、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を長年に渡り行ってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。
また、各種イベントを実施する際には、子ども運営会議の委員が自ら企画・運営できるようなサポート体制を取っており、こども文化センターの目的である、青少年の健全育成・社会参加に大きく貢献していると言える。
さらに、学校や行政、地域の各団体等と連携した事業展開を積極的に行っており、特に中学生・高校生のボランティアや職業体験の受入等、近年、喫緊の課題となっている中高生の居場所づくりに積極的に取り組んでいること等、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所の一つとしての役割を十分担っていると言える。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、職員と子どもが顔の見える関係を築き、中高生を含めた様々な年代の子どもたちにとって、居心地のよい場となるよう努めてもらいたい。
特に、中野島こども文化センターにおいては、地域の特性を活かした事業展開を実施してもらいたい。